

そ お 曾 於 議会だより

2009.11

No. 18



平成 20 年度決算を認定	2
財部小学校校舎改築工事の契約	5
市政を問う 一般質問	7
委員会報告	13
議員定数 26 人を 22 人へ	16

末吉中学校体育大会 (16P 参照)

活かされたか 平成20年度決算を認定

あたりの
借金
154,000円
682,000円

61億9,133万6千円
273億9,162万8千円
平成21年3月末現在の
で除した額
を含む)

○財政指数の推移

	18年度	19年度	20年度
財政力指数	0.293	0.305	0.310
実質収支比率	6.1	4.2	4.1
経常収支比率	89.1	90.4	90.6
公債費比率	17.5	16.2	14.6

～ 一般会計への審査意見 ～

一般会計の決算審査は、予算の執行状況、成果等を審査しました。

①財政力指数

行政の仕事を行うのに必要な費用を自前で調達できるかを示す費用のこと。1.0に近づくほど望ましいとされています。曾於市は0.310で一層の努力が必要です。

②実質収支比率

実質収支額を標準財政規模で割ったもので、3%から5%が望ましいとされています。

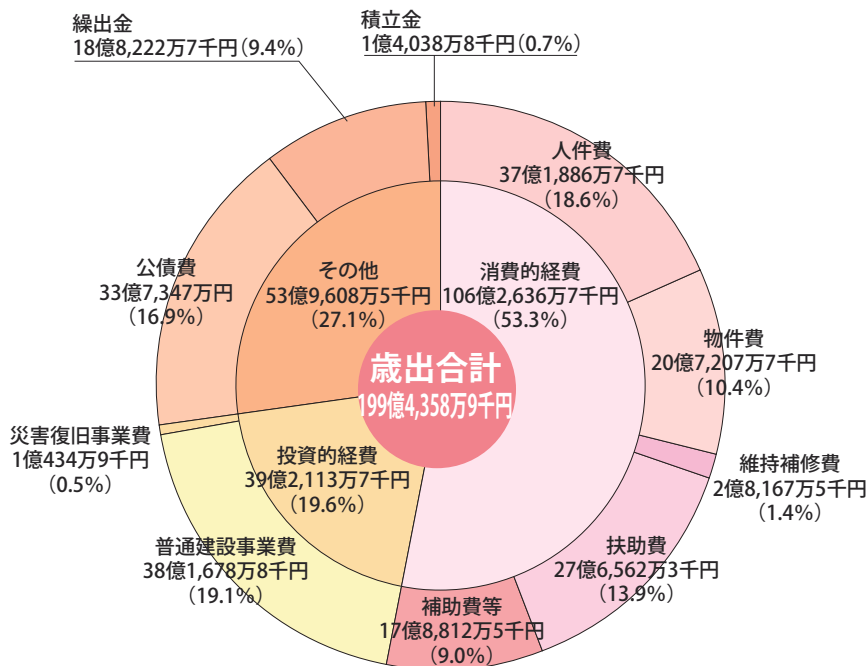
20年度は、4.1%で、数値の範囲内で計画的な財政運営でした。

③経常収支比率

人件費などの経常経費が一般財源にどの程度しめるかで財政の弾力性を示し、75%以下が望まれます。20年度は90.6%、19年度は90.4%だったので改善に向けて努力すべきです。

④公債費比率

一般財源にしめる公債費(借金)の割合で10%を越えないことが望ましいとされています。20年度は14.6%、19年度は16.2%だったので、16%改善されてはいますが、引き続き努力すべきです。



○歳出関連用語解説

消費的経費

市政を運営するために毎年必ず確保しなければならないお金。(家庭で考えると、食費や光熱水費、交通費など)

投資的経費

建物、道路等建設に関する経費。毎年規模や額は変わる。(家庭で考えると、地デジなどのテレビ購入、家の増築など)

その他

市債(借金)の元金や利息の返金、特別会計運営のための支援など(家庭で考えると、家や車代のローン返済金、貯金の積立など。)

公債費

市債(借金)返済のためのお金

扶助費

高齢者・障害者等に対する援助費等福祉及び教育支援経費など

まちづくりはどう

歳出総額311億円の

9月定例会は、9月10日に開会し、10月19日に閉会しました。今会議では、平成20年度一般会計・特別会計決算の認定や平成21年度予算補正など、報告3件、諮問案1件、同意案1件、議案12件、陳情3件、発議7件を審議・議決しました。

市民一人 貯金と

貯金 借金

基金(貯金)総額
市債(借金)総額

※一人あたりの金額は、
推計人口40,146人
(一般会計と特別会計)

平成20年度 会計別決算状況 (千円以下切り捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	
一般会計	205億7,591万円	199億4,358万円	
特別会計	国民健康保険	57億3,363万円	56億8,097万円
	老人保健	6億9,030万円	6億6,276万円
	後期高齢者医療	4億4,164万円	4億3,691万円
	介護保険	42億1,474万円	39億5,469万円
	公共下水道事業	4億1,557万円	4億374万円
	生活排水処理事業	7,511万円	7,302万円

分担金及び負担金 2億6,423万6千円(1.3%)
使用料及び手数料 2億7,397万7千円(1.3%)

○歳入関連用語解説

自主財源

市税を始め、使用料や手数料など市が自主的に収入する財源のこと。(家庭で考えると、給料や土地等の支払収入など)

依存財源

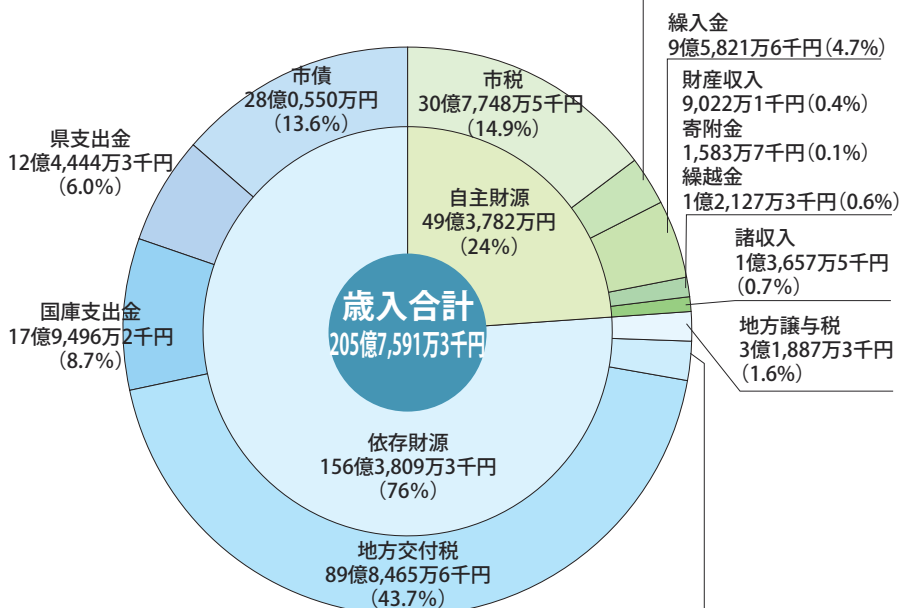
地方交付税や国・県支出金など国や県から交付される財源のこと。(家庭で考えると、家や車代のローン、児童手当等の市や国からの支援、農業等への国からの補助金のこと)

地方交付税

所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金。

市債

市の借金のこと。大きな事業を行うため国や金融機関から借り入れるお金。



・利子割交付金 1,199万9千円(0.1%)・配当割交付金 184万6千円(0.0%)・株式等譲渡所得割交付金 42万1千円(0.0%)・地方消費税交付金 3億3,068万2千円(1.6%)・ゴルフ場利用税交付金 1,743万9千円(0.1%)・自動車取得税交付金 8,079万5千円(0.4%)・国有提供施設等所在市町村助成交付金 81万3千円(0.0%)・地方特別交付金 3,825万5千円(0.2%)・交通安全対策特別交付金 740万9千円(0.0%)

● 決算審査の各委員会では… ●

総務常任委員会

- 思いやりバスの利用増と見直しを！
- 市税収納率のさらなるアップを！

文教厚生常任委員会

- 環境基本計画の策定に基づく実施を！
- トップアスリート事業で青少年の夢実現を！

建設経済常任委員会

- 有機センターの計画的改修を！
- 市道等の維持管理の充実を！

思いやりバスの利用増を

現状路線を廃止するのは簡単だが、市民の足として生かすことも大切であり、路線限定のデマンド方式や福祉バスのようなものにした方が良いとの意見が出ました。



トップアスリート派遣指導事業

オリンピック等で活躍された方々を学校に招き、児童・生徒がスポーツに親しみ、体力・運動能力向上の動機付けを行う事業です。市内小学校6校、中学校1校で実施されました。



有機センターの計画的改修を

築10年を経過した有機センターは、老朽化が進み、アンモニアによる腐食で危険な箇所もあります。

平成21年度に総点検し、改修される予定です。



市道等の維持管理を

市道維持は、^{わだち}轍によりゆがんだ箇所、高所払い等の必要な箇所がないか、現地確認を行い計画的に維持、管理、補修等に努めるよう意見が出ました。



待ちに待った新校舎が！



財部小学校校舎完成予想図

☆財部小学校普通教室棟 改築工事（建築）請負 契約の締結

（賛成多数）

財部小学校普通教室棟は老朽化に伴い、改築することになりました。

旧校舎は昭和28年から30年に建設され、当時、木造建築が主流の中、鉄筋コンクリート造りのモダンな校舎でした。

しかし、この校舎も54年以上がたち、また耐震強度も不足していることもあり、改築されること。この請負契約では、鉄筋2階建て、総面積2841㎡の改築を計画しています。

※平成21年度から22年度にかけての全体事業総額は6億9008万5千円、校舎は平成22年7月までに完成する予定です。

◎予算

☆平成21年度一般会計補正予算（第3号）

（全会一致）

今回の補正は、歳入では公営住宅整備事業等に伴う地域住宅交付金2671万3千円、緊急雇用創出事業に伴う6件の臨時特例基金事業費補助金1986万6千円、財政調整基金繰入金6186万2千円及び起債対象事業追加等に伴う市債の追加8240万円、歳出は要援護者生活支援調査事業、老人保健特別会計繰出金等の社会福祉費2731万8千円の追加、新型インフルエンザの感染拡大防止のための物品購入費や検診推進事業等の衛生費2032万7千円の追加や増資に伴う畜産振興基金繰出金3千万円、森林整備林業木材産業活性化推進補助金1億5400万円、大隅大川原駅舎改修等の整備事業932万6千

円、向江公園等の都市公園管理費1260万5千円、公営住宅の改修に伴うストック総合改善事業4899万6千円、地域振興住宅建設事業の4137万6千円の追加が主なものです。



歩道整備予定の向江公園（末吉町）

◎水道事業決算

☆平成20年度曾於市水道事業会計決算認定

（賛成多数）

本市水道事業は、年数経過による施設の老朽化が進んでいる中、安全で

安定的な水の供給を図るため、年次の改良等に努めてきました。

経営状況は、給水戸数14,383戸、給水人口34,417人、供給水量（有収水量）357万4495㎥で、1日一人あたりの使用水量285ℓとなっています。事業収益は5億3774万1004円、事業費用は4億3255万4287円で純利益は1億518万6717円となりました。

◎陳情・意見書

次の陳情を採択し、意見書を関係機関に提出しました。

・「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の採択を求める陳情書

（賛成多数）

・甘味資源作物に関する陳情書

（全会一致）

・保険でよい歯科医療の実現を求める陳情

（全会一致）

次の意見書を議員発議し、関係機関へ提出しました。

・平成21年度補正予算の適正な執行を求める意見書

（賛成多数）

国では、現在の補正予算の執行を停止し、不要と判断した事業は廃止する方針を示しています。

この補正予算は、現在の経済危機の景気の底割れを防ぎ、国民の生活の安心を確保するために予算化されたものですが、地方自治体では、経済危機対策のための交付金をもとに予算編成し、議会の議決を経て、実施段階に入っています。本意見書は、国の政策見直しによる事業廃止により、地方自治体が混乱しないように、補正予算の適正な執行を求めるものです。

○協定の締結

☆宮崎県都城市との定住自立圏の形成に関する協定の締結

(全会一致)

定住自立圏は中心市(都城市)と周辺市町村(曾於市等)が、自らの意志で1対1の協定を締結することを積み重ねる結果として形成される圏域です。

中心市では、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備します。周辺市町村では、必要な生活機能を確保し、農林業の振興や豊かな自然環境の保全等を図ります。お互いに連携・協力することにより、圏域全体の活性化を図るとともに地方圏からの人口流出を食い止め、地方圏への人の流れを創出することをねらいとしています。



都城市定住自立圏協定締結式

○人権擁護委員の承認

人権擁護委員候補者を推薦するため、議会に意見が求められ適任とされました。

高柳 正充氏 66歳

(財部町東馬場)

○副市長の選任

副市長の任期満了に伴い、中山喜夫氏の再任について提案があり、同意しました。

中山 喜夫氏 62歳

(末吉町東法楽寺)

7月臨時会

一般会計補正予算(第2号) 8億9737万6千円などを可決

7月臨時会は、7月3日に開会し16日に閉会しました。

☆平成21年度一般会計補正予算(第2号) (全会一致)

今回の補正は、経済危機対策に関わる国の第1次補正に伴うもので、歳入では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金6億3382万1千円、公立学校施設整備事業費補助金8453万4千円、財源調整のための財政調整基金繰入金6171万円及び平成20年度決算に伴う前年度繰越金5755万8千円が主なものです。

歳出の主なものは、市内小中学校に地上デジタルアンテナを整備し、すべての教室に電子黒板機能付きデジタルテレ

ビを設置する学校情報通信技術環境整備事業1億9367万5千円、農道改良舗装、排水路改修等のための市単独土地改良事業1億2760万円、末吉地区に整備する救急分駐所整備事業2500万円、デジタル放送化に伴い、新たに発生する難視聴地域の解消を図る辺地共聴施設整備事業補助金4640万1千円、住宅のリフォーム費用に対して15万円を限度として補助する住宅リフォーム促進事業補助金1500万円、末吉庁舎に30キロワットの太陽光発電システムを整備する事業に3500万円、枝肉価格の低迷による肥育農家の収益性の悪化を防止し、市内産の子牛価



末吉地区救急分駐所予定地周辺地図

格を買い支えする事業に3600万円、また市営住宅設備等改善事業8200万円です。水洗化等が実施されます。☆平成21年度曾於市水道事業特別会計補正予算 (全会一致)

今回の補正は、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業に伴う収益

的収入1170万円の追加及び収益的支出の1300万円の追加です。収益的支出の追加は、大隅上水道事業の志布志福山線路面復旧工事費です。

一般質問
6議員登壇

市政を問う

市長選を

どう受け止めるか

市長／市民は私の考えを支持してくれた



徳峰 一成 議員

徳峰議員 五位塚候補への8836票は、池田市政への批判票ではなかったのか。

池田市長 相手候補がいる場合、お互いそのようなとらえ方になるのではないかと。

問 高齢者の多くは、敬老祝い金は70歳以上の全員支給か、それとも市長の手直し案か、どちらを支持しているとお考えか。

市長 市長選挙で私は再選された。私の考えている支給方法が市民に支持されたと思っている。

問 市長の4年ごとの1

680万円の退職金についても、選挙では市民の批判が強かったのではないかと。

市長 全国どこの市町村でも、市長の退職金制度はある。今後も続ける方向でいきたい。

問 病院等の不在者投票で、不正が発覚して逮捕者が出た。市長やご家族あるいは運動員は、市長選挙や衆議院議員選挙で不在者投票の依頼を病院等にされたことはないか。

またこのことで警察から取り調べを受けたことはないか。

市長 お願ひしたことはない。取り調べを受けたこともない。

問 今回起きた事件の教訓の一つは、不在者投票所に市選挙管理委員会職

員を派遣しなかったことではないか。

川下選挙管理委員長 今後、委員会で検討したい。

新型インフルエンザ対策は

問 市の取り組みには、対策のための組織と体制、市民への広報と啓発、弱者対策など解決すべき課題がみられるが。

大休寺保健福祉課長 ご指摘の点は、今後視野に入れて取り組みたい。

実行されていない諸課題のその後は

問 大隅北小、恒吉小、財部中など耐震化対策が遅れている学校については、早急に市の計画を議会に示すべきではないか。

植村教育長 できるだけ早く具体策を示したい。

問 池田市政になってから、街路灯設置はわずかな数しかなく、非常に弱く、非常に設置計画がないからではないか。

吉田建設課長 今後、街

路灯設置を、市の総合振興計画に盛り込みたい。

問 私はこれまで市の各積み立て基金の中で、名ばかりの基金については、基金の整理統合を行い、市の大切な財源は有

効に使うよう提案してきた。これまで一部は実施されたが、まだ不十分ではないか。

市長 ご指摘の点は、今後も見直しを進めていきたい。



耐震化対策が急がれる校舎

店舗改装利子補給制度の見直しと新利子補給制度の設置は

市長／限度額を含めて検討していく



海野 隆平 議員

海野議員 国内・曾於市内の中小零細業者の景気の動向をどのように把握されているのか。

池田市長 国内においては、一昨年のアメリカのサブプライム住宅ローンやリーマン証券の問題を発端とする世界的経済不況の中から脱しきれない。依然として厳しい状況に変わりのないものと考えている。

本市においては、8月10日から11日の2日間、市内28企業を訪問し、現在の経営状況について調査した。

「かなり厳しい状況である」とする経営者が多く、企業としても「我慢の時期である」と認識されている。

問 店舗改装利子補給制度の利用状況と実績は。

市長 過去3年間の商工会員の設備投資に対する

利子補給補助金の交付状況は、平成18年度15件で27万5530円、平成19年度26件で51万3530円、平成20年度23件で60万5500円となっている。

問 設備資金、運転資金を対象とする、実情にあった新たな利子補給制度の設置について見解を聞きたい。

市長 現在、緊急経済対策商工業借入金保証料補助金交付要綱を策定し、平成20年10月31日以降の借入者を対象者として助成している。

期限が平成22年3月31日までとなっております。新たな利子補給制度については、限度額を含めて今後検討していきたい。

新型インフルエンザの流行と対策は

問 新型インフルエンザが国内に広がりを見せているが、市長の見解は。

市長 今回の新型インフルエンザは弱毒性ではあるが、感染力が強く市民の生命、生活を守るため感染予防と感染拡大を阻止することが重要と考えている。

問 県内、曾於市内の発生状況は。

市長 9月7日現在、県内で75件の集団発生がある。曾於市内については、集団発生はないが家庭内感染が4件、現在1人が自宅療養中である。



新型インフルエンザ予防策

問 予算面と合わせた今後の対応について。

市長 9月補正で525万4千円をお願いした。また行政機能を維持、継続するための市役所業務継続計画を策定中である。

高松地区へのスーパーニシムタ出店増床計画の概要は

問 増床計画の概要は。

市長 末吉町諏訪方字宮園の32筆の田を造成し、

34,690㎡の敷地面積に売場面積は9994㎡の計画となり、駐車台数は650台、営業時間朝8時から深夜0時まで、予定売上高は30億円、従業員は約130人を予定している。

問 増床計画に伴う市の対応について。

市長 近日中に関係団体と意見交換を行い、その結果を踏まえて慎重に対応していきたい。

市長の所信表明の フラワーパーク整備とは

市長／合併記念公園として整備したい



原田 賢一郎 議員

原田議員 職員数の抑制と本庁、支所方式への移行とあるがどのようなことか。

池田市長 職員数の抑制は、平成18年に策定された定員適正化計画に基づき適正化に努める。本庁、支所方式の移行は、合併



楽しめるパークゴルフ

後5年を経過した時期を
目途に、末吉支所を曾於
市役所本庁に移行し、大
隅、財部支所については
現行の総合支所方式を維
持しながら、段階的に見
直しを行っていく。

問 観光、レクリエーシ
ョンの振興として仮称パ
ークゴルフ、フラワー公
園の整備を図るとあるが、
その内容は。

市長 パークゴルフに限
定しているものではない。
フラワー公園の整備は、
市の花つつじを中心に合

併記念公園として整備を
したい。

今後、多くの方々の意
見を参考にしながら、場
所、規模等を決定し、数
年をかけて実施していく。

問 老朽化した学校施設
の整備や中学校の統合と
あるが、その具体的な内
容は。

市長 学校施設の整備は
耐震診断調査の結果や建
築年数を見ながら整備を
する。

財部の3中学校を1校
に、末吉の2中学校を1

校に前向きに統合計画を
進める。

問 仮称健康ランドの設
置とあるが、その内容は。

市長 末吉老人福祉セン
ターの建て替えで、全市
民が利用できる福祉、健
康全般まで多様なニーズ
に対応できる施設で、場
所は曾於市民プール及び
メセナ会館周辺の市所有
地を考えている。

問 長寿祝金を平成22年
度から節目支給の見直し
とあるが、その内容は。

市長 70歳から5歳き
ざみで75歳、80歳に支給、
90歳以上は全員に支給、
100歳到達者への祝い
金、最長寿者への祝い金
を検討している。

平成22年度の新基準
で行えば76歳、77歳、86
歳、87歳、88歳の方が支
給されないことになるの
で、これは調整して支給
する方向で検討する。

税制改革は

問 暫定税率廃止後、曾
於市に与える影響は。

市長 暫定税率の廃止分
が減収になるのか、これ
にかわる新たな財源措置
があるのか今のところわ
からない。

住宅行政は

問 均衡ある発展のため
大隅町坂元地区にベッド
タウン化を図るべきでは。
市長 坂元ウッドタウン
に造成した9区画のうち
4区画が残っているので、

完売に努力しながら希望
者の把握をし、無駄使い
にならないよう努めてい
く。

問 大隅町菅牟田地区に
一戸建て住宅の建設を。

市長 菅牟田地区の市管
住宅の10戸のうち7戸が
入居している。空き家の
状況を調査しながら住宅
建設の検討をしていく。



築29年の菅牟田住宅

地域活性化をどう進めるか

市長／地域の特性を活かしながら
支援したい



吉村 幸治 議員

道路整備は

吉村議員 基本的な考え方、具体的な取り組み、今後、さらにとどのように進めていくか。

池田市長 旧3町の均衡ある発展を目指し、計画に基づき15車線のな道路整備により改良延長を図る。また側溝整備を含めた道路維持管理にも努めていく。

問 生活道路として県道、市道等の悪い所の手直しや高所やぶ払い等の思い切った平成22年度予算ができないか。



高所やぶ払いの予算を

市長 現在、自治会などをお願いしているが、高所作業の予算は年々増している。一度にはできないので、厳しい所は自治会長などより要望して頂きたい。

住宅建設は

問 今後どのように進めていくか。

問 地域で共生・協働で作業等ができるところは、機械借り上げ料等の助成ができないか。

市長 今は補助制度がないが、今後必要であると思うので検討したい。

問 地域活性化のため住民の要望に応じた計画的な地域振興住宅建設も重要なことだと考える。

問 農村部に若者のための地域振興住宅はできないか。

市長 市外からの参入が基本となっているが、市営の状況を調査し、住宅がなく望む声が多いようならそれは考えたい。今のところ振興住宅を中心に考えている。

農林畜産業支援を

問 農林畜産業支援をさらにとどのように進めていくか。

市長 それぞれの基本的な考え方のもと、今ある課題を追求し、地域の特性を活かしながら、補助制度を複合的に活用し支援していきたい。

問 地域の農地を守るため、市のモデルとして、大峯地区集落営農組合が発足して1年経過するが、どのように評価しているか。



大峯地区集落営農組合（財部町）

市長 曾於市のモデルであり課題を一つずつ解決するため、対策を講じながら進めている。なお必要な組織であり、市内に取り組みが広がってほしい。

むらづくり活動支援を

問 地域活性化をどのように進めていくか。

市長 農林業振興の基礎的単位である集落や複数の集落を合同した地域の振興を図るため、国・県

補助の活用と採択要件に満たない場合は、市単独の支援も続けていきたい。

問 地域づくりにがんばっているところに、今後補助事業や人的体制の応援をしてもらえるか。

市長 具体的なことは今すぐは言えないが、補助事業等を含んで検討していく。

今後の4年間の池田市政は

市長／民間活力等の導入も図る



山下 諭 議員

山下議員 今後4年間の池田市政の指針・施策となる所信表明について問う。民間活力の導入とあるが、具体的には何か。

池田市長 民間への事業委託、指定管理制度の導入、民間のノウハウ活用を考えている。



民間活力でにぎわうレストラン四季祭
(道の駅すえよし)

問 末吉町柳迫地区には民間の住宅が多く建築されている。

市街からの転入者に家賃の一部を助成することも民間活力の導入と見解は。

市長 多様な方法があるので、事例に沿って検討する。

農林業資源の整備とは

問 農林畜産資源の流通、

加工、販売の整備とあるが市はどのように対応できるのか。商工業振興には言及されていないが。

市長 曾於市はこの生産額は大きい。「そお」の名前は全国に知られていない。そお市ブランドの確立と併せて、市でできる地域の名が出る整備の方法を検討していく。商工業振興には言及していかなくても振興に努めていく。

公園の整備場所は

問 パークゴルフ、フラワー公園の整備構想は。新規建設であれば、交通の便、近隣観光地の有無、宿泊場所等の条件が整わなければ市外からの客は見込めない。財部の悠久の森南西側には、この条件ピッタリの台地がある。

市長 具体的な場所や規模建設年度は未定である。市の花つつじは考えている。市民の意見を参考に合併記念の公園として計画する。

県道改良の状況は

問 改良等の必要な場所は、関係機関に要望していくとある。塚脇財部線、特に帯野集落と大川原信号機付近の改良見通しは。

市長 要望は曾於地区土木協会要望として、継続して整備を要望していく。塚脇財部線の管内延長は12kmで、中野上村地区の600m、帯野地区の700m、計1300mが未改良区間として残る。

大川原信号機付近は、通学路でもあるので引き続き改良を要望していく。

長寿祝金見直しの方法は

問 市長選後、支給開始年齢は別として、全員支給を望む声が多いと感じている。

気力も体力もなくなっただけからもうよりも、元気な時にもらい、金額は少なくとも、孫たちに少しでも与えられたら、孫も喜ぶし自分も楽しいと言われたことには答えが

できなかった。

来年から長寿祝金は節目支給での見直しを実施すると表明されている。その方法は。

市長 合併前は3町とも70歳からの全員支給であったが、合併協議で節目支給となった。見直しは節目支給を尊重し70歳から5年きざみの節目支給とし、90歳以上を全員支給とすることで検討している。他に100歳到達者、最長寿者へのお祝い金も考えている。



改良が望まれる県道塚脇財部線

園芸・畜産・林業振興は

市長／施設の団地化を図る



松田 司 議員

松田議員 畑地かんがい事業による水利利用をした10年後のビジョンの具体策と年次計画は。

池田市長 曾於東部地区では、10年後の目標を設定し、目標達成に向けた具体策として路地品目はさつまいも、かぼちゃ、ごぼう、大根、白菜、キャベツ、施設品目ではスプレー菊を推進、面積拡大と施設の団地化を図る。

問 園芸振興会との連携をどのようにするか。

市長 市の園芸振興を図るために、生産技術、経営農家の経営安定と所得向上を図る目的で、旧町

単位の振興会が一本化され、園芸振興に水利利用技術実施団の設置、モデル散水器具の設置及び実演等を実施し園芸振興を図る。



曾於市園芸振興会設立総会

問 県は本年度から耕畜連携係を設置しているが、曾於市の取り組みは。

市長 市では、経済課、農業委員会、畜産課等が連携し、転作水田や耕作放棄地等の利活用を積極的に図るため、国、県等の研究成果を見極め、関係課の連携を密にし、耕畜連携した自給飼料の生産拡大を図りたい。

問 有機センターの設置についての考えは。

市長 有機センターの堆肥製品の販売拡大と有機質堆肥を市内農家へ還元するため、中継所を大隅、財部地内に建設を検討したが、有機センター営業開始以来10年が経過し、ほぼ全ての設備が経年劣化し早急な修繕が必要なため、中継所建設は先送りし、センターの正常化を図りたい。

問 林業特産品のしきみ、さかきの販売現況について。

市長 特用林産組織については、3組合があり、市内の一本化を図り、林業での所得向上及びブランド化を目指して、平成18年市特用林産組合を設立したが、思うような活動をしていないのが現状である。今後、共販の確立、販路拡大とブランド化を図りたい。

道路行政について



早い改良が望まれる市道河原飛佐線（大隅町）

問 道路行政について、河原飛佐線の現況と今後の改良計画は。

市長 市道河原飛佐線は、県道志布福山線のバイパスの道路であり、延長8km、河原菅牟田まで4km整備済みである。菅牟田浅井間は、県が代行事業で23年度までの計画であり、浅井飛佐入り口まで1300m、市が23年度まで整備し、残り1000mについては、

県に継続採択を要望し早期完成を図りたい。

問 高所作業車購入について

市長 市道沿線の杉や雑木・竹等が、市道内に覆いかぶさり、交通の妨げになっている。高所伐採は、道路維持作業員やシルバー及び業者委託で今後も実施していきたい。

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

総務常任委員会、文教厚生常任委員会、建設経済常任委員会は、閉会中の所管事務調査を実施しました。また、各委員会では9月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会（渡辺利治委員長）

☆所管事務調査

（調査事項）

地域インターネット基盤施設整備事業の現状と今後の課題について。

国の目標は平成22年までブロードバンドゼロ地域をなくす目標である。本市も同じ事業により、9交換局を本年度末

整備し、全小中学校でインターネットの活用が可能となる。

億小学校はインターネットのサービス提供自体はされているが、交換局



インターネットを活用した授業

との距離の点で実際はわからない状況であり、岩北小・柳迫小はNTT側のADSLと配線不具合な線が途中にありできないとある。

これらの学校の対策としては、携帯電話あるいは衛星によるブロードバンド化の整備を急ぐ必要がある。

委員会としては、住民の利便性の向上、教育環境の格差是正、過疎化、高齢化問題解消に向けてブロードバンド環境の整備を、財政的問題もあるが検討するよう求めた。

☆宮崎県都市との定住自立圏の形成に関する協定の締結

協議会委員の人数は、

首長、議長など委員は21名である。

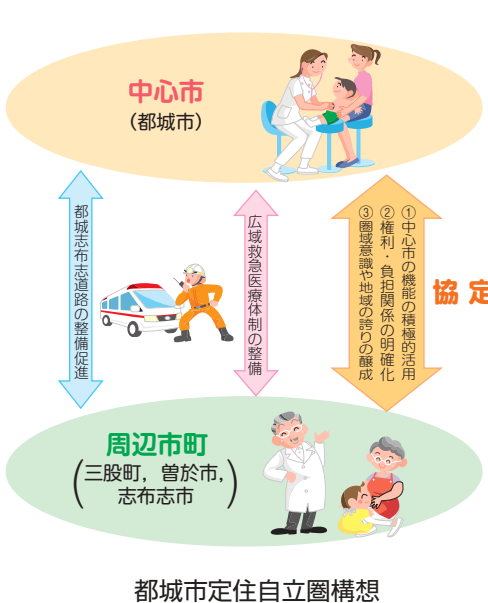
問 運営資金はどうなっているのか。

答 運営資金は中心の都市へ約3億円交付され、近隣へも約1千万円交付される。

意見 委員会では交通整備も重要であるが、医療面で二次医療発生の際の受け皿の点について、医師会と開業医との協議をさらに深くしなければ、不安がぬぐいきれないと指摘した。

※二次医療とは

高度・特殊な医療をのぞく一般的な入院・比較的専門性の高い医療サービスの提供と確保を行う圏域。一次医療はかかりつけ医、二次医療は高度・特殊医療サービスを行う。



☆平成21年度一般会計予算の補正（所管分）

問 吉井記念洋画展審査委員長の織田廣喜氏から寄贈された絵画の大きさと展示場所は。

答 絵画は100号であり、末吉総合センターに展示する。

要請 消火栓を末吉町大園地区に設置するが、国道反対側への災害発生時は、国道を消火用ホースが横断するので、近隣の池山地域へ早急に設置してほしい。

問 土地利用の事務の内容は。

答 農地以外の所有権移転に関する宅地山林等の土地取引には届けが必要である。その際の確認調査等を行い、県へ報告するための経費であり、現在14件届けがある。

問 過年度還付金は、例年と比べるとどうなっているか。

答 過年度市税還付金で、住民税、固定資産税等90件が還付されている。平成20年度は単年度限りの税源移譲に伴い還付件数が多かった。

☆所管事務調査

（調査事項）

学校調査

・菅牟田小学校

現在の児童数は7名であるが、校区の方々は学校運営に協力的であり、開かれた学校づくりへの取り組みが行われている。

・大隅中学校

地元農家やレストラン等での職場体験学習（5日間）を積極的に行っている。また、鹿屋体育大学との連携により、研究の成果を生徒の体力向上に生かす取り組みがなされている。

・岩川小学校

「豊かな心育成プラン」として、大人になったら何をしたいのか、そのために今どんな目標を持ったらいいのか、を児童に考えさせる具体的な取り組みがなされている。

・月野小学校

学力向上策として、基礎学力（読み・書き・計算）を、一人ひとりに確実に身につけさせるため、辞書を決められた時間内で引けるようにするなど、具体的な目標を掲げ、指導がなされている。

・大隅南小学校

P T Aとの連携も盛んに行われ、地域の特色を生かした教育活動が行なわれていた。施設については、校舎2階部分の外壁補修の要望などがあった。

・恒吉小学校

校区が広く、85%以上の児童が2 km以上の遠距離通学をしている状況であるが、集団下校時の安全指導を徹底し、交通事故ゼロへの取り組みが行われている。

・諏訪小学校

児童の安全指導を徹底するため、職員による校内巡視を毎日2回以上実施し、校区内の危険箇所

の定期点検をされるなどの取り組みがなされている。

・深川小学校

学力向上策として、読書の推奨に指導を強化されている。施設については、体育館トイレ水洗化等の要望があった。

・柳迫小学校

学習面では、毎週水曜日に「チャレンジ国語」を実施するなど積極的な取り組みがなされている。また、青少年赤十字への加入によるボランティア精神への理解と深化を図られていた。

・光神小学校

学力向上策として、授業の定着化を図るためのノート指導や、漢字・計算タイムでの繰り返し指導に取り組みされていた。施設については、洋式便器の設置やカーテン取り替えなどの要望があった。

・大隅北小学校

学力向上策として学年×15分の家庭学習、保護者の前での音読、朗読の

実践に取り組み、子どもと共に保護者自身が伸びようとする家庭の実現に力を入れていた。

・笠木小学校

特色ある活動として、歴史と伝統を踏まえた教育活動の推進に努めている。学力面では、ドリル・プリントで満点をとるまで繰り返し指導がなされている。

【まとめ】

いずれの学校も地域での疎化に伴い、児童・生徒数の減少が予想されることから、定住促進、少子化対策の更なる対応が早急に求められる。今後、地域や学校の活性化を図る施策及び計画的な校舎等の老朽化対策（耐震化対策）について、検討を急ぐべきではないかと思われる。

☆平成21年度一般会計予算の補正（所管分）

問 債務負担行為（住民基本台帳ネットワークシステム導入に対する賃貸借料）について。

答 国のシステムと互換性をもたせるためのOSの変更及び機器の更新であり、リース契約のため平成22年度から5年間の債務負担行為である。

問 末吉デイサービスセンター空調機修繕費として、65万円が計上されているが、その財源として、雑入で指定管理者負担分30万円が計上されている。指定管理施設における修繕料の考え方は。

答 指定管理者選定委員会の基本的な考え方が示されている。当施設については、協議により30万円を指定管理者の負担とした。

問 新型インフルエンザ対策事業として、525万4千円が計上されているが、曾於市におけるインフルエンザ発生時の体制は確立されているのか。

答 市長を本部長とする新型インフルエンザ対策本部を設置している。今回の補正で、行政機能は維持できると考えている。

問 複式学級対応黒板が

設置されていない複式学級は何クラスあるのか。

答 笠木小学校1クラス、榎小学校1クラスが移動式黒板で対応している。なお、榎小学校は、来年度もう1クラス複式学級が増える見込みで、それらに対応するものである。

☆平成21年度国民健康保険特別会計予算の補正

問 保険税の歳入減について。その内容と今後の考え方は。

答 今回の減額は確定賦課によるものである。税率は平成16年度以降改定されていないが、現在の状況で医療費の伸びや現行の補助金等を仮定した場合、来年度以降については、税率を10%ほど引き上げなくてはならない状況である。

※債務負担行為

事業の予算などを議会に諮ることによって将来の財政支出を約束する行為

☆所管事務調査

（調査事項）

県畜産共進会

第58回鹿児島県畜産共進会が霧島市始良中央家畜市場で開催された。県内11地区から58頭の肉用牛が出品された。

団体優勝は曾於地区だった。また、曾於市代表の6頭は全て最優秀賞であり、最高賞の農林水産大臣賞、グラントチャンピオンに、父系群若雌3頭一組の森岡雄次さん



県畜産共進会

所有のななゆきふく号、町卓也さんのはつひめ号、森岡六男さんのゆきこ号が選ばれた。審査講評の中で、県所有の金幸福の産子で3頭とも父牛のいい特徴を受け継ぎ、似通っていて斉一性があつたと評価された。

今回も11地域から選ばれた58頭の肉用牛全てが最高の生産素牛であり、今後の鹿児島県の生産牛として繁殖されることを期待する。

☆平成20年度曾於市水道事業会計決算の認定

給水戸数14,383戸で前年度と比較すると95戸の増である。また給水人口は34,417人で22人の減であり、計画給水人口に対しては92.6%の普及率である。

問 今後の水道事業の取り組みは。

答 合併して大隅を重点的に改良して、一応の改良は終わった。今は末吉を取り組んでおり、引き続き財部も取り組んでいく。

☆平成20年度曾於市水道事業剰余金の処分

また七村、城山が終われば馬立簡水の整備が残っているが、この改良が終われば、施設監視システムで、全ての水源池と配水池を画面上で監視することができる。

剰余金の処分は、地方公営企業法第32条第2項の規定により処分するものである。処分について

は、減債積立金600万円、建設改良積立金4068万7340円、翌年度繰越利益剰余金16万5992円の処分である。

☆調定申立ての提起（市営住宅の明渡し請求及び滞納家賃等の支払請求）

市営住宅の明渡し請求及び滞納家賃等の支払請求を求めため、調停申立てを提起するもので、

地方自治法第96条第1項第12号の規定によるものであり、今回の調停者は5名である。

☆平成21年度曾於市一般会計予算の補正（所管分）

曾於地区植樹祭運営補助金の内容は。

答 新しく整備した大川原峽駐車場周辺北側にイロハモミジ150本と山桜50本を植える計画である。

問 水稲裏作飼料作物種子補助の概要は。

答 市内の作付け状況調査に基づき200haを算出した。申し込みについて



大川原峽オートキャンプ場植栽予定地

☆平成21年度曾於市公共下水道事業特別会計の補正

問 下水道浄化センターの操作パネルの設置は何年度か。

答 平成15年に設置したもので、6年経過している。

☆平成21年度曾於市水道事業会計予算の補正

問 市道付属施設清掃点検補修の内容は。

答 今回は主に点検と清掃で、全ての市道のガードレールパイプ、道路標識、カーブミラーの点検と清掃である。

問 末吉簡易水道事業柳井谷地区の漏水の状況は。

答 漏水は3カ所である。

意見 水道事業運営については、未収金の徴収に努力され、水源池及び配水池等の安全対策について万全を期し、安心、安全な水の供給に努められたい。

議員定数26人を4人減の22人へ

議会議員定数条例の制定を発議 全会一致で可決

10月1日の本会議で、橋元孝一議員を提出者として、「曾於市議会議員定数条例の制定について」が議員発議され、全会一致で可決されました。

「行政改革」を求める議会でも、自らが率先して自主的、自立的な議会改革を行うべきであり、その一つとして議会定数について見直しの必要性があることを提案理由とし、現行の議員定数26人を22人に改正するための議案が提出者を含め、21人の連名により提出されました。

この条例は、公布日の10月2日から施行され、平成21年11月15日に執行される曾於市議会議員選挙から適用されます。



表紙によせて



9月末から10月になり
ますと、小学校・中学校
の運動会がにぎやかに開
催されます。

60歳を過ぎた私どもの
時代の運動会は、農繁期
を過ぎた11月初旬に行わ
れ、非常に寒い朝出かけ
た記憶があります。

写真は末吉中学校の運
動会の一コマです。「山
椒は小粒でもぴりりと辛
い」ということわざどお
り、昔の方が覇気に満ち
ていたように感じたのは
私だけでしょうか。

(大川内)

編集後記

今年、選挙の多い年
となりました。

先の衆議院議員選挙で
は、歴史的な政権交代が
なされました。

それを受け、是非は別
として、地方への影響が
出始めています。

我が曾於市は、山間部
が多く回ってみますと空
き家や独居老人が、4年
前と比較すると多いこと
に驚きます。

たとえ政権はかわって
も、地方の実情をしっか
りとらえ、自立自興の精
神のもとに議員、職員が
今一度地方自治の原点に
立ち、奮起が期待されて
いると実感します。

(瀬戸口)

現職市議会議員の任期

11月30日まで

曾於市議会議員投票日

11月15日(日)

私たちが
作っています

いろんなご意見を
お聞かせ下さい。



議会広報等調査
特別委員会

委員長 大川原主税
副委員長 原田賢一郎
委員 八木 秋博

委員 大川内富男
委員 吉村 幸治
委員 瀬戸口三郎

発行責任者
議長 坂口 幸夫